



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社山田再生系債権回収総合事務所 上場取引所 東
コード番号 4351 URL <http://www.yamada-servicer.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 晃久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 光行 TEL 045 (325) 3933
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,413	△19.1	△161	—	△149	—	△156	—
2024年12月期第3四半期	1,746	△5.9	△4	—	69	△50.3	22	△76.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △119百万円 (—%) 2024年12月期第3四半期 52百万円 (△50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△36.63	—
2024年12月期第3四半期	5.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	5,851	3,186	54.5
2024年12月期	6,684	3,348	50.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 3,186百万円 2024年12月期 3,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,518	9.9	210	483.3	195	84.0	116	134.5	27.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	4,268,000株	2024年12月期	4,268,000株
2025年12月期3Q	8,434株	2024年12月期	8,434株
2025年12月期3Q	4,259,566株	2024年12月期3Q	4,259,566株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく景気、不動産市況、金利、為替動向等の社会・経済動向の変化が含まれます。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、コロナ禍からの回復傾向は顕著なもの、物価上昇や人手不足等により、中小企業を中心として厳しい経営環境が続きました。政府は物価高への対応、構造的な賃上げ推進に取り組んでいますが、地政学的リスクや、先行き不透明な日米の政治情勢の中、わが国経済が持続可能な成長経路をたどれるか、今後も注視していく必要があります。また、不動産価格は都市部を中心に上昇傾向にありますが、一部に過熱感がみられる他、地域毎、物件毎の格差が顕著になってきております。こうした中、当社グループは「顧客第一主義」を経営理念に掲げ、「不動産・債権に関するワンストップサービスの提供」をビジネスモデルとして、サービス事業、派遣事業、不動産ソリューション事業等を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,413百万円（前年同期比19.1%減）となり、営業損失は161百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常損失は149百万円（前年同期は経常利益69百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は156百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① サービス事業

サービス事業においては、見込んでいた担保物件の売却が一部第4四半期以降にずれ込んだため、売上高は366百万円（前年同期比30.6%減）、セグメント利益は95百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

② 派遣事業

派遣事業においては、概ね計画に沿って推移したものの、主要派遣先において案件の期ずれが発生した影響等により、売上高は1,007百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は149百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

③ 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、2022年度に仕入れた大型の借地権負担付土地（底地）案件の売却が徐々に進んでいるものの、個別の事情から予定より遅れており、売上高は60百万円（前年同期比76.1%減）、セグメント損失は12百万円（前年同期はセグメント利益100百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産5,851百万円（前連結会計年度末に比べ833百万円減）、株主資本2,954百万円（同198百万円減）となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は5,132百万円（前連結会計年度末に比べ836百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金34百万円の増加、買取債権892百万円の減少、販売用不動産81百万円の増加、貸倒引当金64百万円の増加によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は718百万円（前連結会計年度末に比べ3百万円増）となりました。これは主に、投資有価証券44百万円の増加、差入保証金・敷金30百万円の減少によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,580百万円（前連結会計年度末に比べ655百万円減）となりました。これは主に、短期借入金600百万円の減少によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は1,084百万円（前連結会計年度末に比べ15百万円減）となりました。これは主に、長期借入金12百万円の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は3,186百万円（前連結会計年度末に比べ161百万円減）となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金42百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金156百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の連結業績予想については、2025年8月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,158	951,271
売掛金	121,038	116,036
買取債権	4,967,216	4,074,867
販売用不動産	629,676	711,038
仕掛品	346	346
未収入金	83,731	79,022
未収還付法人税等	6,763	15,083
その他	59,517	65,776
貸倒引当金	△815,889	△880,569
流動資産合計	5,969,557	5,132,873
固定資産		
有形固定資産	113,934	109,895
無形固定資産	3,600	2,700
投資その他の資産		
投資有価証券	370,028	414,757
差入保証金・敷金	207,331	177,030
その他	19,855	13,806
投資その他の資産合計	597,215	605,593
固定資産合計	714,750	718,189
資産合計	6,684,307	5,851,062
負債の部		
流動負債		
買掛金	480	330
短期借入金	1,900,000	1,300,000
未払金	72,585	42,878
1年内返済予定の長期借入金	112,491	99,996
リース債務	30,946	32,783
未払法人税等	22,525	799
預り金	33,172	17,222
賞与引当金	17,200	45,785
その他	46,649	40,424
流動負債合計	2,236,050	1,580,220
固定負債		
長期借入金	37,509	25,004
リース債務	70,031	67,255
繰延税金負債	55,211	78,281
役員退職慰労引当金	622,488	625,782
退職給付に係る負債	282,409	252,913
預り保証金	20,147	22,766
資産除去債務	12,355	12,500
固定負債合計	1,100,152	1,084,503
負債合計	3,336,203	2,664,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,500	1,084,500
資本剰余金	806,840	806,840
利益剰余金	1,265,401	1,066,747
自己株式	△3,228	△3,228
株主資本合計	3,153,514	2,954,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,590	231,479
その他の包括利益累計額合計	194,590	231,479
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,348,104	3,186,339
負債純資産合計	6,684,307	5,851,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,746,677	1,413,347
売上原価	1,272,686	1,108,611
売上総利益	473,990	304,735
販売費及び一般管理費	478,006	466,582
営業損失(△)	△4,016	△161,847
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,757	9,414
家賃収入	36,870	4,109
設備賃貸料	15,378	15,980
投資不動産売却益	1,998	8,341
消費税差額	33,041	—
その他	21,095	6,217
営業外収益合計	116,142	44,065
営業外費用		
支払利息	28,078	26,401
家賃原価	9,445	1,339
投資事業組合損失	2,428	2,781
その他	2,478	1,308
営業外費用合計	42,431	31,829
経常利益又は経常損失(△)	69,695	△149,612
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	69,695	△149,612
法人税、住民税及び事業税	45,516	2,746
法人税等調整額	2,075	3,700
法人税等合計	47,592	6,446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,102	△156,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,102	△156,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	22,102	△156,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,797	36,888
その他の包括利益合計	30,797	36,888
四半期包括利益	52,900	△119,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,900	△119,169
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	26,887千円	25,635千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	528,653	964,491	253,532	1,746,677	—	1,746,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,640	—	20,640	—	20,640
計	528,653	985,131	253,532	1,767,317	—	1,767,317
セグメント利益又は損失(△)	136,538	136,301	100,476	373,316	△3,249	370,067

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,746,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	△20,640	—
計	△20,640	1,746,677
セグメント利益又は損失(△)	△374,083	△4,016

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の374,235千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	366,771	986,575	60,000	1,413,347	—	1,413,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	21,324	489	21,813	—	21,813
計	366,771	1,007,899	60,489	1,435,160	—	1,435,160
セグメント利益又は損失(△)	95,364	149,657	△12,355	232,667	△3,292	229,375

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,413,347
セグメント間の内部売上高又は振替高	△21,813	—
計	△21,813	1,413,347
セグメント利益又は損失(△)	△391,222	△161,847

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の391,370千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業		
債権回収受託手数料	17,509	—	—	—	17,509
派遣料収入	—	964,491	—	—	964,491
不動産販売	—	—	175,200	—	175,200
仲介手数料等	—	—	64,831	—	64,831
その他	590	—	—	—	590
顧客との契約から生じる収益	18,099	964,491	240,031	—	1,222,622
その他の収益(注) 2	510,554	—	13,500	—	524,054
外部顧客への売上高	528,653	964,491	253,532	—	1,746,677

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。

当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業		
債権回収受託手数料	14,337	—	—	—	14,337
派遣料収入	—	986,575	—	—	986,575
不動産販売	—	—	43,700	—	43,700
仲介手数料等	—	—	2,119	—	2,119
その他	2,219	—	—	—	2,219
顧客との契約から生じる収益	16,556	986,575	45,819	—	1,048,951
その他の収益(注) 2	350,214	—	14,181	—	364,396
外部顧客への売上高	366,771	986,575	60,000	—	1,413,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。